

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：環境管理費 目：環境管理推進費

事業名 ライチョウ保護普及推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境エネルギー生活部 環境生活政策課 生物多様性係

電話番号：058-272-1111(内2923)

E-mail：c11260@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,500 千円 (前年度予算額： 1,500 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,500	0	0	0	0	0	1,500	0	0
要求額	1,500	0	0	0	0	0	1,500	0	0
決定額	1,500	0	0	0	0	0	1,500	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

・県の鳥であるライチョウは、国の特別天然記念物及び「種の保存法」にて国内希少野生動植物種に指定されている。また、環境省や岐阜県のレッドリストにて絶滅危惧種に分類され、保護対策を講じるべき対象種である。

・平成30年度に「岐阜県ライチョウ保護計画」を策定した。今後は、保護計画に記載された生息状況等調査や環境教育をはじめとした普及啓発活動を実施する。

(2) 事業内容

岐阜県ライチョウ保護計画に基づき、生息状況等調査や環境教育をはじめとした普及啓発活動を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県ふるさと環境保全基金を活用

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費	228	ライチョウ観察会講師等報償費
旅費	359	ライチョウ観察会、ライチョウ生息調査等
需用費	201	調査用品、啓発グッズ作製費
委託料	485	啓発グッズ開発費
備品購入費	100	環境学習用教材購入費
使用料	127	SNSアカウント使用料、有料道路利用料
合計	1,500	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

国：令和2年4月、第二期ライチョウ保護増殖事業実施計画を策定。令和3年4月、第2期域外保全実施計画を策定。

県：第13次鳥獣保護管理事業計画により、鳥獣保護区、特別保護地区等で生息地を保護。平成30年度「岐阜県ライチョウ保護計画」を策定。

(2) 後年度の財政負担

岐阜県ライチョウ保護計画を実行するための事業に係る予算

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
岐阜県ライチョウ保護計画に基づき、生息状況等調査や普及啓発活動を実施する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

ライチョウの生態について多くの方に理解をしていただき、保全の取組みの普及が目的であり、定量的な成果目標を設定することが困難なため。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	乗鞍岳の麓でライチョウを捕食する若しくは生息環境が競合する野生動物の生息調査を実施し、ライチョウ保護に必要なデータ収集を行った。 また、WEB上でのライチョウに関する動画公開、小学生に対し講義を実施するなどライチョウの認知度向上を図った。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和5年度	乗鞍岳の山頂付近でライチョウを捕食する若しくは生息環境が競合する野生動物の生息調査を実施し、ライチョウ保護に必要なデータ収集を行った。 また、SNSを利用したライチョウの情報発信、小学生に対し講義を実施するなどライチョウの認知度向上を図った。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和6年度	乗鞍岳及び御嶽山の山頂付近でライチョウを捕食する若しくは生息環境が競合する野生動物の生息調査を実施し、ライチョウ保護に必要なデータ収集を行った。 また、SNSを利用したライチョウの情報発信、県民向けに乗鞍岳でライチョウ観察ツアーを実施するなどライチョウの認知度向上を図った。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価) 3	ライチョウは、限られた場所で生息する希少な鳥であり、環境省や生息地を有する他自治体では保護対策が進められている。岐阜県としても効果的で持続性のある保護対策を実施する必要性がある。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	農業フェスティバル等に展示出展し、ライチョウの生態や保全の取組みの普及啓発を行った。また、ライチョウの生息を脅かす恐れのある野生動物の侵入状況について、継続的な調査等を始めた。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	平成30年度に策定した岐阜県ライチョウ保護計画に基づいて、事業を計画的に進めることができています。

(今後の課題)

- 効果的で持続性のある保護対策を検討するために、定期的に計画の見直しや評価を行う必要がある。

(次年度の方向性)

- 平成30年度に策定した岐阜県ライチョウ保護計画に基づき、ライチョウの保護対策や普及啓発など、継続して実施する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる実施する理由 や期待する効果 など	【〇〇課】